

湖南市都市計画マスタープラン第2回策定委員会 議事要旨

日 時：令和7年10月21日(火) 10:00～
場 所：共同福祉施設 大会議室

開会

協議事項（ア）第1回策定委員会での意見と内容整理」

(意見、質問はなし)

協議事項「(イ)湖南市の現況・問題点と課題の設定」

「① 人口、人の動き、産業等の現況と問題点」

- ・湖南市として想定される災害は比較的少ないとは思うが、想定しているものはあると思うので、次回にでも示していただきたい。
- ・市街化区域内には空閑地は少ないという結論であったが、利用状態としてはどうなのか。これから市街地を拡大する方向になるのか、絞る方向になるのか、もしくは現状維持の中で空き地の有効利用を図るのかというところにつながる。

空き家だけでなく空き地の情報があるか、また、空き家についてもここに出ているのは一般の家であり、商業や工業の建物でどれほど使われていない建物があるのか。今後、人口が減少するという話があったが、今あるものをどれだけ有効に活用していくかという観点が必要である。このため、土地の利用状況、用途別の建物の利用状況等をお願いしたい。

⇒データについては、令和6年、7年度に県で都市計画見直しのための基礎調査を実施しており、その資料を提示したい。(事務局)

- ・湖南市では自動車の利用率が高く、高齢になっても自動車を使わざるを得ないが、移動手段についてはまちづくり全体の中で考えていく必要がある。

協議事項「(イ)湖南市の現況・問題点と課題の設定」

「②市民アンケートによる市民意向と若者・子育て世代意見交換会の結果」

- ・公共交通の利便性向上が課題になっているが、利便性が向上した場合に、逆にストロー現象というか、外に送り出すということにもつながり、難しいところがある。市民がそこに居続けたいと思う上で重要なのは、やはり交通手段というよりも文化であり、結局、最終的に文化的なことが非常に重要である。

- ・幸福度の指標を見ると、「遊び・娯楽」に関しては客観データが最も高くなっているが、主観データでは最も低くなっている。乖離の度合いが最も著しいが、この理由がどこにあるのか。

⇒湖南市には施設はある、公園もあるが、それを市民が利用できる状況、状態にないという点がこの乖離を生んでいるのかと思う。デジタル庁の定義については確認し、次回報告する。(事務局)

協議事項「(イ)湖南市の現況・問題点と課題の設定」

「③農業の現状」

- ・国の施策として、農地を守るということに特化しなければならず、また、農地を守っている地権者の意識をどうするのかということも考えないと、どちらのバランスが強くても成立しない話である。今、本当に課題が多い農地、優良農地の維持・確保に、農業委員としても奮闘している。

⇒これまで企業の参入は難しかったが、企業も農業をしたいということがあり、企業の参入が可能になったが、農業はなかなか儲からず、企業参入は進んでいない。(事務局)

- ・湖南市の場合面積が小さい農地が多く、相続人が現れない場合は荒廃地になって、農地が山林化する恐れがあり、今後、大きな課題になるとを考えている。

- ・農地は農作物の生産だけではなく、治水的にも地域景観としても意味があり、その土地を適切に活用するというところが大事である。例えば、どれぐらいの農地が有効に活用されているのか、耕作放棄地がどれぐらいあるか等のデータがあれば教えていただきたい。

⇒次回に提示する。(事務局)

協議事項「(イ)湖南市の現況・問題点と課題の設定」

「④公共交通の現状」

- ・これから更に高齢化が進んでいく中で、日常の交通手段がないところのサービス確保のために必要な経費のあり方を考えていく必要がある。

⇒バスで回れない地域について、タクシー車両を市内で循環させているが、安全性等いろいろと問題もあるため、市民が持続的に利用できる、空白地を出さない取り組みについて、現在新たな仕組みを考えている。(事務局)

- ・地域公共交通の問題は非常に大きな問題であり、おそらくここで最終的な案を出すことはできないが、住民アンケートでもやはり求める声が多く、そういった声をあげていくことはできるので、駅周辺の土地利用も合わせて、公共交通を考えていきたい。誰がどう負担するのかという議論については別途できればよい。

協議事項「(イ)湖南市の現況・問題点と課題の設定」

「⑤駅周辺の土地利用の現況」

- ・今後、三雲駅、甲西駅周辺で、一般の乗用車駐車場を整備する計画はあるのか。

⇒駐車場という計画ではないが、今後の議論の中で、周辺の土地利用の考え方や、交通結節点としての機能強化、駐車場やバスの乗り入れ等、駅を中心として強化していくために、どのような土地利用がよいのかということを提示したい。(事務局)

協議事項「(ウ) 湖南市都市計画マスタープラン素案（序章、第1章）」

- ・追加した課題4（「各地域でコミュニティの維持・活性化を図る必要があります」）は非常に大事である。いわゆるインフラ整備とか、ハードなところだけではなく、使い方をきちんと考えることは、工業地でも、農業でも、商業でも、また公共交通ネットワークでも、あらゆるものに当てはまる話であり、これを1つ加えたというのは、非常によい。

⇒駐車場という計画ではないが、今後の議論の中で、周辺の土地利用の考え方や、交通結節点としての機能強化、駐車場やバスの乗り入れ等、駅を中心として強化していくために、どのような土地利用がよいのかということを提示したい。(事務局)

その他

(次回委員会は12月頃に開催予定。議題は課題に対する方針、まちの将来像等を予定。)

閉会